平成 23 年 11 月４日

各　　位

会 社 名　サンケン電気株式会社
代表者名　代表取締役社長　飯島貞利
コード番号　6707（東証　市場第一部）
問合せ先　ＩＲ室長　村野泰史
ＴＥＬ　(048)487-6121

第２四半期業績予想と決算値との差異、通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の決算値との差異並びに通期連結業績予想の修正につき、下記の通りお知らせいたします。また配当予想の修正につきましても、併せてお知らせいたします。

記

１．第２四半期連結累計期間業績予想と決算値との差異並びに通期連結業績予想の修正について

(1) 第２四半期連結累計期間業績予想と決算値との差異
（平成 23 年４月１日～平成 23 年９月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 71,400	百万円 2,400	百万円 1,700	百万円 0	円　銭 0．00
今回実績(B)	66,138	1,300	369	△1,261	△10．40
増減額(B-A)	△5,261	△1,099	△1,330	△1,261	△10．40
増減率(%)	△7.4%	△45.8%	△78.3%	－	－
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期第2四半期)	71,773	3,003	2,195	670	5．53

(2) 平成 24 年３月期通期連結業績予想の修正
（平成 23 年４月１日～平成 24 年３月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 150,000	百万円 7,500	百万円 6,000	百万円 2,500	円　銭 20．60
今回修正予想(B)	141,000	5,000	3,200	500	4．12
増減額(B-A)	△9,000	△2,500	△2,800	△2,000	△16．48
増減率(%)	△6.0%	△33.3%	△46.7%	△80.0%	△80.0%
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	144,882	6,149	4,972	△922	△7．60

(3) 差異及び業績予想修正の理由

東日本大震災による全般的な売上減に加え、世界的なＴＶ需要の落ち込みや急激な円高などから、当第 2 四半期連結累計期間の業績結果と予想値との間に差異が発生いたしました。

また今後につきましては、欧州の財政不安が実体経済に悪影響を及ぼすリスクがあるほか、現行水準の円高が継続した場合、国内企業の業績を更に低下させる可能性があります。こうした厳しい外部環境の展望並びに当第 2 四半期連結累計期間の業績結果等を踏まえ、既に公表しております通期の連結業績予想につきまして、上記の通り修正いたします。

当社グループは、自動車向け既存製品の拡販に努めるとともに、電気・ハイブリッド自動車向け新製品の開発にも注力し、車載品ビジネスの対象領域を広げてまいります。また、得意分野であるパワーデバイス及びパワーシステムが主役となる「エコ・省エネ」市場において、特に新興国でのインバータ化の流れに対応すべく、下半期に製品増産体制を確立し、モータビジネスの売上規模を拡大してまいります。これら施策の実施により収益を確保し、業績予想を達成してまいりたいと存じます。

２．配当予想の修正

(1) 修正の内容

	1株当たり配当金		
基　　準　　日	第2四半期末	期末	年間
前回予想（平成23年8月8日）	3円 00銭	3円 00銭	6円 00銭
今 回 修 正 予 想	0円 00銭	未定	未定
当　期　実　績	－	－	－
前期実績（平成23年３月期）	3円 00銭	3円 00銭	6円 00銭

(2) 修正の理由

当社におきましては、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要施策の一つと位置付け、収益力の向上と財務体質の強化を通じ、安定的かつ着実な配当の実施を図ってまいりたいと考えております。しかしながら、当第２四半期連結累計期間の業績が厳しい結果となったこと、また今後の経済情勢が極めて不透明な状況にあること等を踏まえ、誠に遺憾ではありますが、上記(1)の通り配当予想を修正させていただきます。

以　　上

※　上記の業績予想数値等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。